

まちづくりに関する意識調査(アンケート)に
基づく各論の指標について

平成 24 年 4 月 27 日
尼崎市総合計画審議会 参考

意識調査 設問番号	指標	項 目	割合
問5		市政への関心を持つ市民	56.5
問6		以前よりも(ここ数年で)市政への関心を持つようになった市民	40.0
問7		健康のために意識的に運動やスポーツをしている市民	63.7
問8		生涯学習の成果を地域づくりに活かせていると感じる市民	5.9
問9		中学生以下の子どもと交流がある市民	49.0
問10		学校の教育活動に関わりを持つ市民	23.9
問11		身近に子育てに関し相談できる地域の環境があると感じる市民	48.5
問12		身近なところで人権問題が発生していると感じる市民	38.2
問13		性別による固定的役割分担に同感しない市民	63.6
問14		家族以外で頼れる人はいないが、いればよいと思う市民 (孤立感を感じる市民)	32.1
問15		生きがいを持つ高齢者 (全年齢 75.0%)	65.4
問16		障害のある人の日常生活に必要な地域環境が整っていると感じる市民	32.1
問17		「整っていない」と感じる理由	
問18		健康だと感じている市民	75.7
問19		健康診断の受診頻度	
問20		市の消防・防災体制に対して安心感を持つ市民	73.4
問21		家庭での防火・防災に関する取組	
問22		日常生活を安心して過ごせると感じる市民	54.3
問23		「過ごせない」と感じる理由	
問24		尼崎市の経済が活性化するような行動を心がける市民	71.8
問25		市内で便利で満足の行く買物が出来ていると感じる市民	80.7
問26		市に対してよいイメージを持っている市民	67.5
問27		市に対するイメージが良くなったと感じる市民	35.4
問28		尼崎市の歴史に関心を持っている市民	56.0
問29		環境問題、地球温暖化問題に興味・関心がある市民	82.0
問30		身近な自然や生き物を大切にしている市民	56.2
問31		住環境は快適で暮らしやすいと感じる市民	82.8
問32		都市基盤により、利便性・安全性が確保されていると感じる市民	80.5

まちづくりに関する意識調査(アンケート)結果
【報告書】

平成24年3月

尼崎市

《 目 次 》

I. 調査の実施概要	1
1. 調査の目的	1
2. 実施概要	1
II. 調査結果	2
1. 回答者の基本属性	2
2. 尼崎市への居留意向	5
3. 市政への関心や日常生活について	8
4. 市役所の取組への評価	24

I. 調査の実施概要

1. 調査の目的

平成 25 (2013) 年度を初年度とする、総合計画の進捗状況を計るための指標のうち、市民の意識や行動に関する割合 (数値) を用いるものについて、その基準 (初期値) となるデータを収集するために実施した。

2. 実施概要

(1) 調査対象

市内在住の満 15 歳以上の市民を母集団とし、その中から 2,000 人を抽出し、調査対象とした。

(2) 調査方法

郵送による発送・回収を行った。また、調査期間中に、調査対象者全員に協力依頼はがきを送付した。

(3) 調査期間

平成 24 年 2 月 23 日 発送

平成 24 年 3 月 15 日 (回答期限 : 平成 24 年 3 月 7 日)

(4) 回収結果

図表I-1 回収結果

発送数	未着数	実発送数	有効回答数	有効回答率
2,000	17	1,983	945	47.7%

II. 調査結果

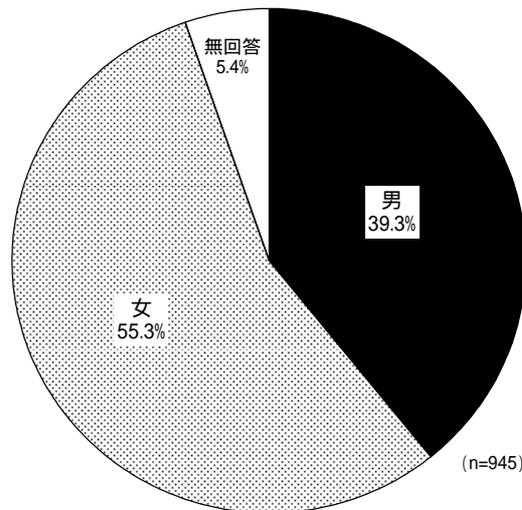
1. 回答者の基本属性

(1) 性別・年齢

- ・ 性別は、男性が 39.3%、女性 55.3%であり、女性の回答割合がやや高くなっている。

図表II-1 性別

【性別】



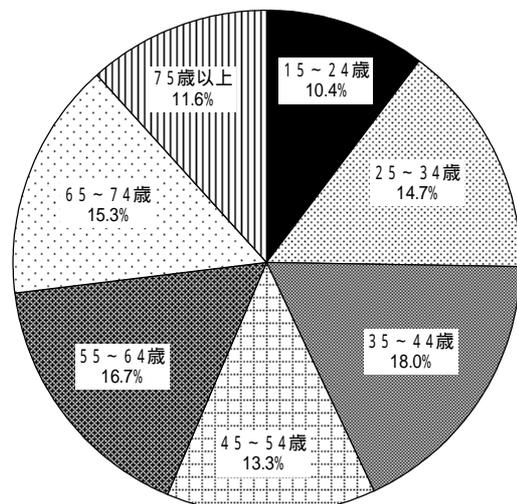
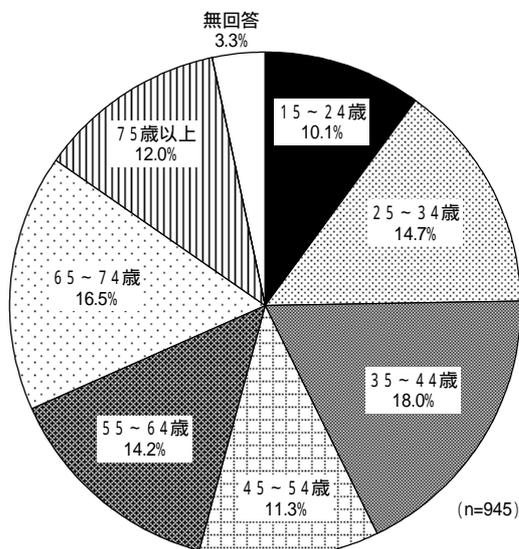
(2) 年齢

- ・ 年齢別にみると、最も回答が多いのは「35～44歳」(18.0%)であり、「65～74歳」(16.5%)、「25歳～34歳」(14.7%)と続く。
- ・ この比率は、国勢調査における年齢構成比と近いものになっている。

図表II-2 年齢

【回答者の年齢構成】

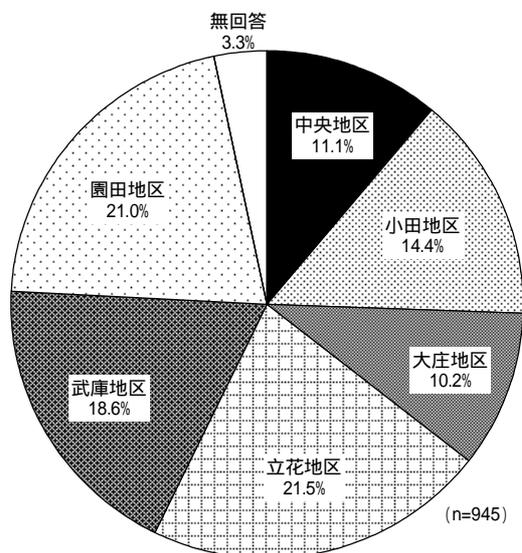
【国勢調査における年齢構成比(平成22年)】



(3) 居住地

・居住地別にみると、最も回答が多いのは「立花地区」(21.5%)であり、「園田地区」(21.0%)、「武庫地区」(18.6%)と続く。

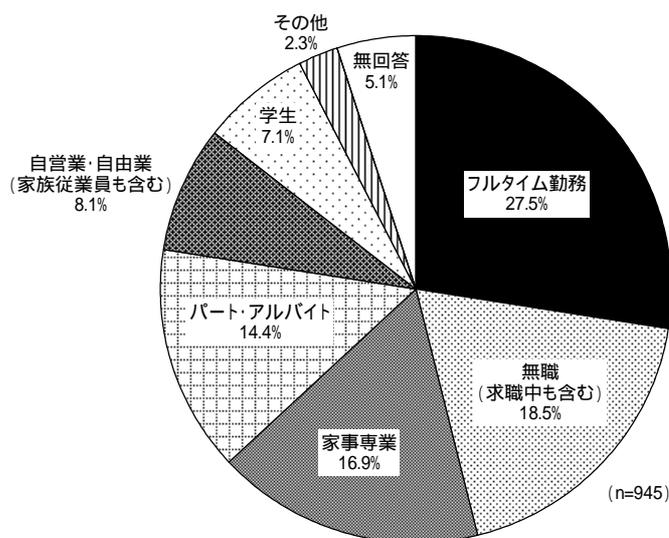
図表II-3 居住地



(4) 就業状況

・就業状況をみると、最も回答が多いのは「フルタイム勤務」(27.5%)であり、「無職」(18.5%)、「家事専業」(16.9%)と続く。

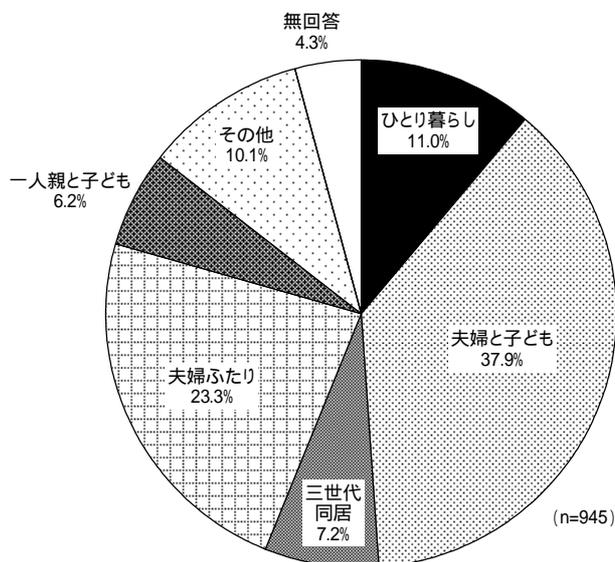
図表II-4 職業



(5) 家族構成

・ 家族構成をみると、「夫婦と子ども」(37.9%)が最も多く、「夫婦ふたり」(23.3%)が次に多い。

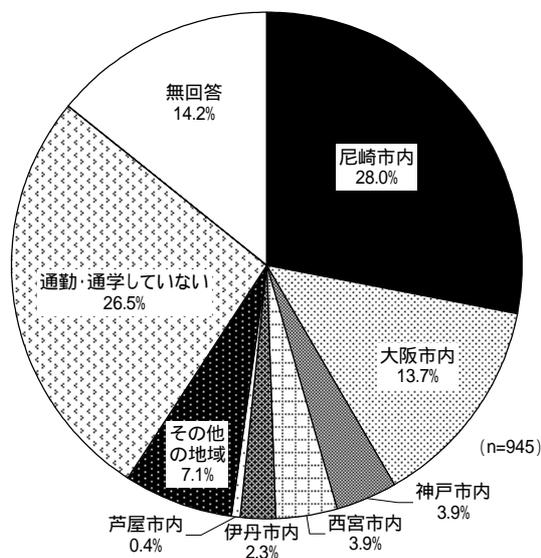
図表II-5 家族構成



(6) 通勤・通学地

・ 通勤地・通学地をみると、「尼崎市内」(28.0%)が最も多く、「勤務・通学していない」(26.5%)が次に多い。

図表II-6 通勤・通学地

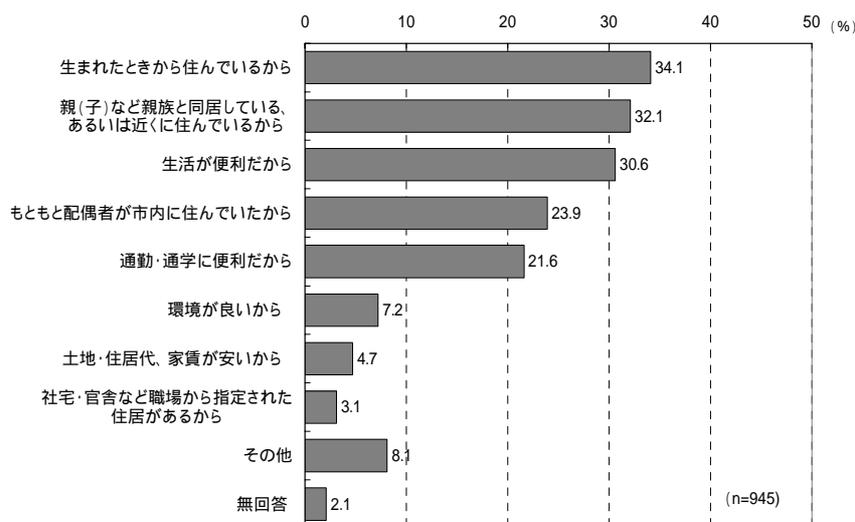


2. 尼崎市への居住意向

(1) 居住理由(問1、複数回答)

・ 尼崎市に居住している理由をみると、「生まれたときから住んでいるから」(34.1%)が最も多く、次いで「親(子)など親族と同居している、あるいは近くに住んでいるから」(32.1%)、「生活が便利だから」(30.6%)の順となっている。

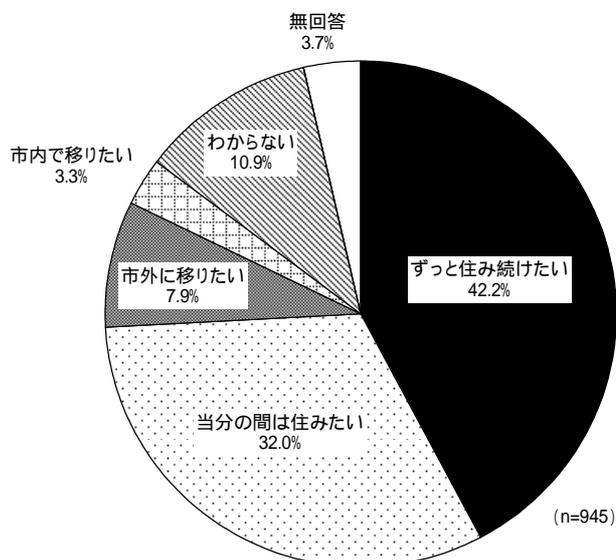
図表II-7 尼崎に現在居住している理由



(2) 居住継続の意向(問2)

・ 尼崎市への今後の居住意向をみると、「ずっと住み続けたい」(42.2%)が最も多く、「当分の間は住みたい」(32.0%)が次に多い。
 ・ 2つを合わせると、住み続けたいとしている回答者は全体の7割以上になっている。

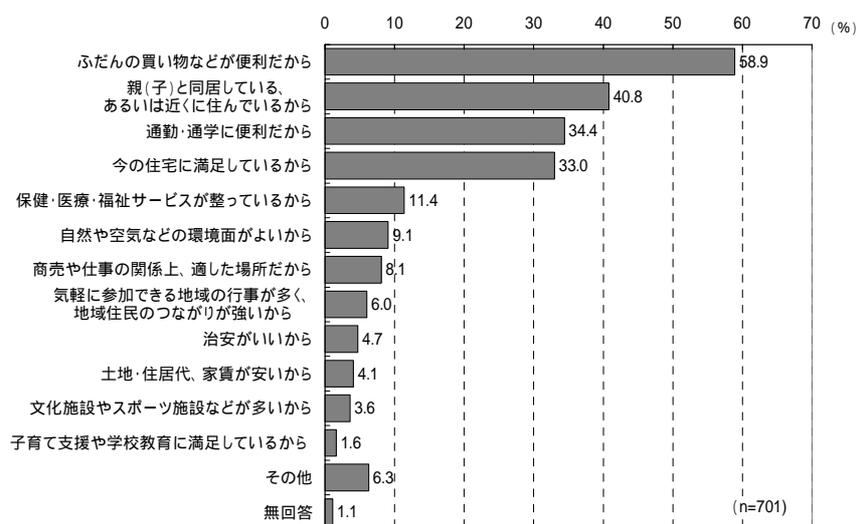
図表II-8 居住継続の意向



(3) 居住の継続を希望する理由(問3 - A、3つ以内で回答)

・ 尼崎市に住み続けたい理由としては、「ふだんの買い物などが便利だから」(58.9%)が最も多く、次いで「親(子)など親族と同居している、あるいは近くに住んでいるから」(40.8%)、「通勤・通学に便利だから」(34.4%)、「今の住宅に満足しているから」(33.0%)の順となっている。

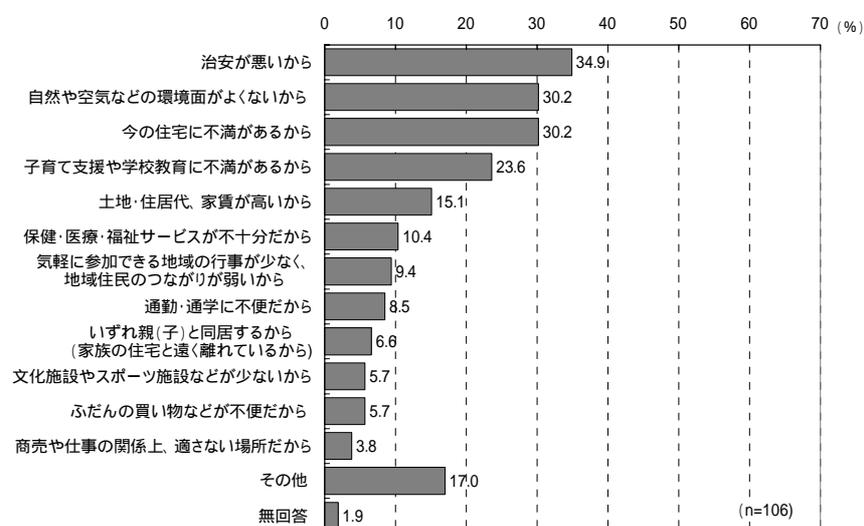
図表II-9 居住の継続を希望する理由



(4) 居住の継続を希望しない理由(問3 - B、3つ以内で回答)

・ 尼崎市に住み続けたくない理由としては「治安が悪いから」(34.9%)が最も多く、次いで「自然や空気などの環境面が良くないから」(30.2%)、「今の住宅に不満があるから」(30.2%)、「子育て支援や学校教育に不満があるから」(23.6%)の順となっている。

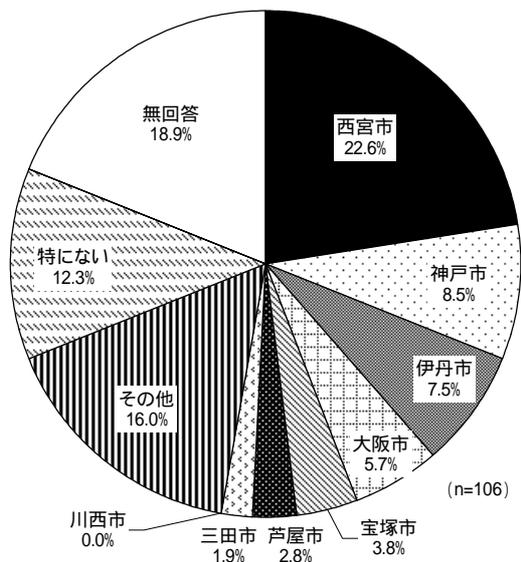
図表II-10 居住の継続を希望しない理由



(5) 転居の希望先(問4、問2で居住の継続を希望しないと回答した人のみ)

・ 問2で居住の継続を希望しないとした人の転居の希望先としては、西宮市(22.6%)が最も多く、次いで、神戸市(8.5%)、伊丹市(7.5%)、大阪市(5.7%)の順となっている。

図表II-11 転居の希望先

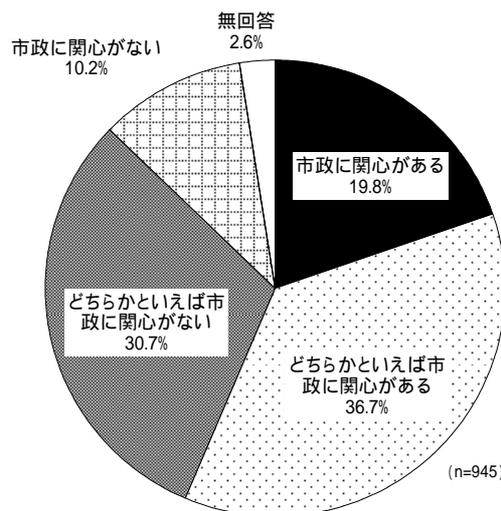


3. 市政への関心や日常生活について

(1) 市政への関心(問5)

・ 尼崎市の市政に対する関心についてみると、「市政に関心がある」という回答は19.8%、「どちらかといえば市政に関心がある」は36.7%となっており、全体の6割弱は関心があると回答している。

図表II-12 市政への関心

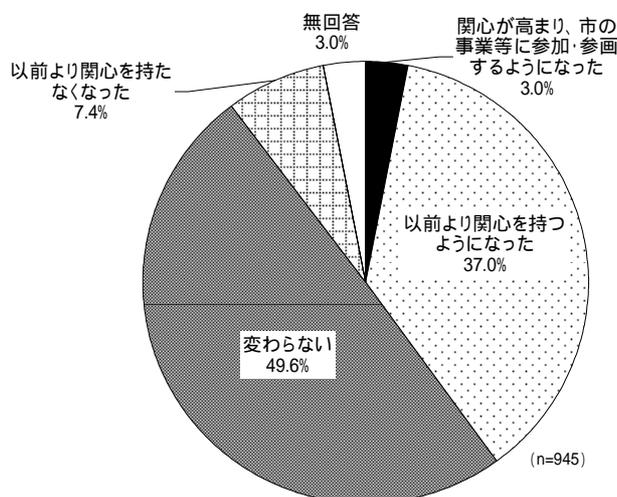


(2) ここ数年間での市政への関心の変化(問6)

・ ここ数年間での市政への関心の変化をみると、「変わらない」という回答が49.6%と最も多くなっている。

・ 「以前より関心を持つようになった」は37.0%、「関心が高まり、市の事業等に参加・参画するようになった」は3.0%となっており、全体の4割がここ数年間で市政への関心が高まったと回答している。

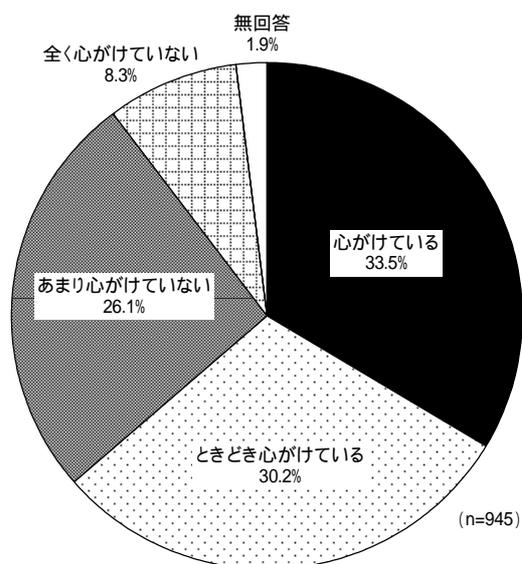
図表II-13 ここ数年間での市政への関心の変化



(3) 健康維持・増進のための運動やスポーツへの意識(問7)

・ 健康維持・増進のために、運動やスポーツを「心がけている」という回答は33.5%、「ときどき心がけている」は30.2%となっており、全体の6割以上が健康維持・増進のために、運動やスポーツに心がけていると回答している。

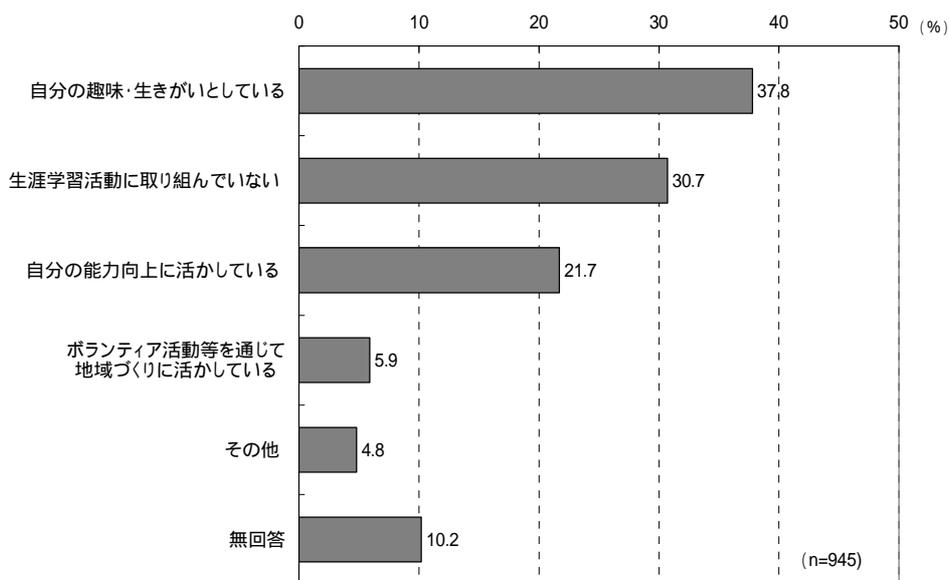
図表II-14 運動・スポーツへの意識・心がけ



(4) 生涯学習活動の取組状況(問8、複数回答)

- ・ 生涯学習活動の取組状況をみると、最も回答が多いのは「自分の趣味・生きがいとしている」(37.8%)であり、「生涯学習活動に取り組んでいない」(30.7%)と続く。
- ・ 「ボランティア活動等を通じて地域づくりに活かしている」は5.9%にとどまっている。

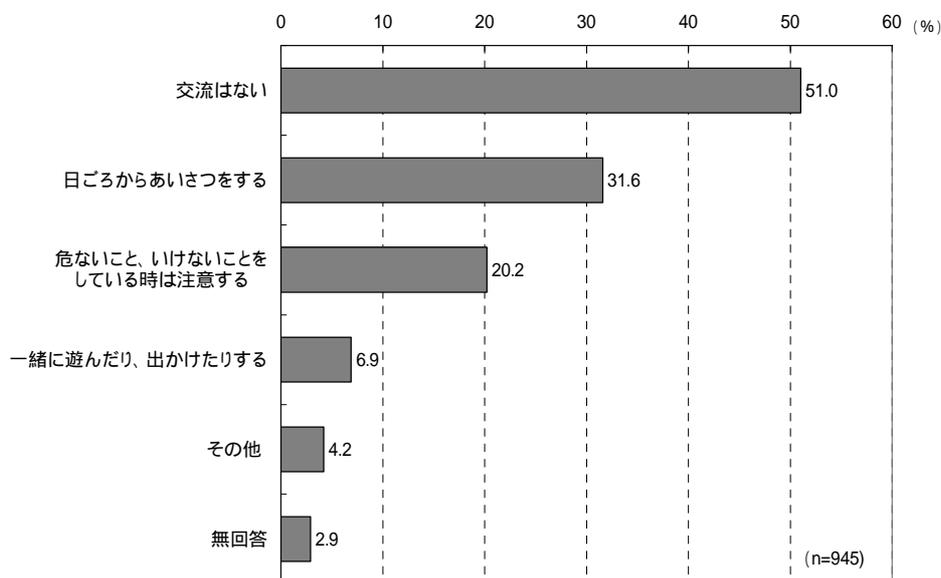
図表II-15 生涯学習活動の取組状況



(5) 地域の子どもとの交流状況(問9、複数回答)

- ・ 地域の子どもとの交流状況をみると、「交流はない」という回答が51.0%と最も多く、次いで「日ごろからあいさつをする」(31.6%)、「危ないこと、いけないことをしている時は注意する」(20.2%)の順となっている。

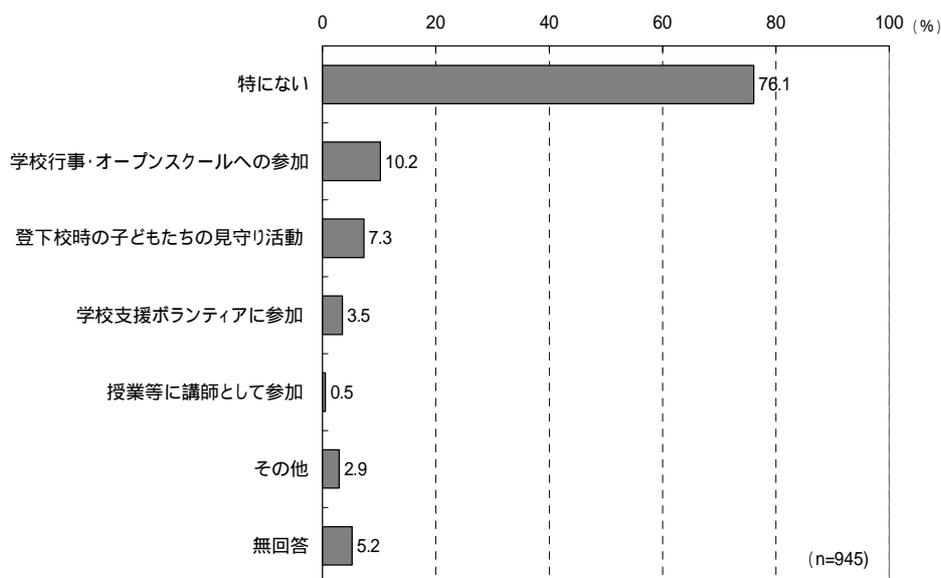
図表II-16 地域の子どもとの交流状況



(6) 地元の小学校との関わり(問 10、複数回答)

- ・ 地元の小学校との関わりについては「特にない」(76.1%)が非常に多い。
- ・ 関わりがある人の回答としては「学校行事・オープンスクールへの参加」(10.2%)、「登下校時の子どもたちの見守り活動」(7.3%)、「学校支援ボランティアに参加」(3.5%)の順となっている。

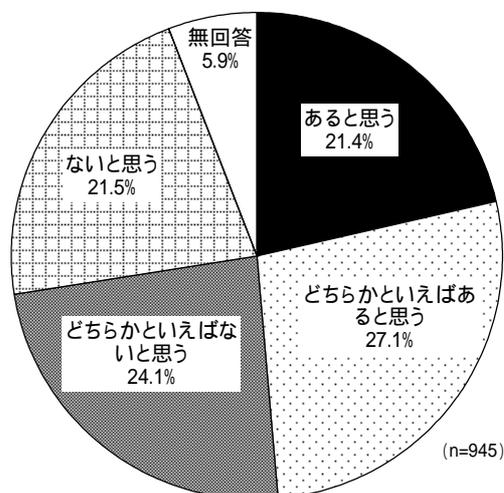
図表II-17 地元の小学校との関わり



(7) 子育ての悩みや不安を相談できる地域環境の有無(問 11)

- ・ 子育ての悩みや不安を相談できる地域環境のあると思うかどうかについてみると、「あると思う」という回答は 21.4%、「どちらかといえばあると思う」は 27.1%となっており、全体の半分近くが子育ての悩みや不安を相談できる地域環境があると回答している。

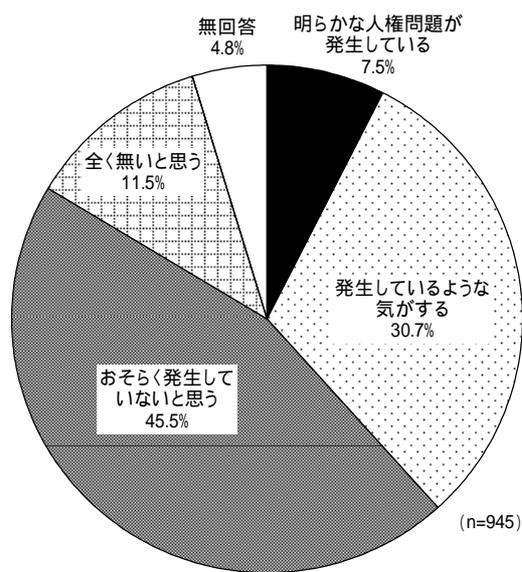
図表II-18 子育ての悩みや不安を相談できる地域環境の有無



(8) 身近なところでの人権問題の発生(問 12)

- ・ 身近なところで人権問題が発生していると思うかどうかについてみると、「おそらく発生していないと思う」という回答が 45.5%と最も多くなっている。
- ・ 「明らかな人権問題が発生している」は 7.5%、「発生しているような気がする」は 30.7%となっており、回答者全体の 4 割近くの人が、身近なところで人権問題が発生していると感じている。

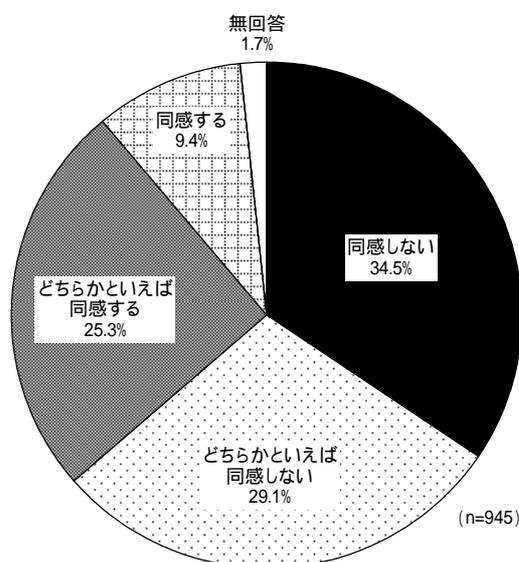
図表II-19 身近なところでの人権問題の発生



(9) 男女の固定的な役割分担意識に対する考え方(問 13)

- ・ 「男は仕事、女は家事・育児」という固定的な役割分担に対する考え方をみると、「同感しない」という回答は 34.5%、「どちらかといえば同感しない」は 29.1%となっており、全体の 6 割強が同感しないと回答している。

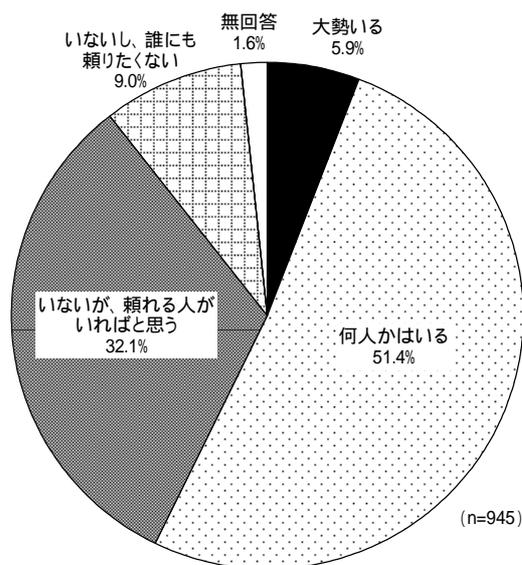
図表II-20 男女の役割分担意識



(10) 地域における、家族以外で頼れる人の有無(問 14)

- ・ 地域に、家族以外で頼れる人がいるかどうかについてみると、「大勢いる」という回答は 5.9%、「何人かはある」は 51.4%となっており、全体の 6 割近くの方が、家族以外で頼れる人がいると回答している。
- ・ 「いないが、頼れる人がいればと思う」という回答は 32.1%となっており、地域において頼りになる人とのつながりを求めている人が少なからずいることがわかる。

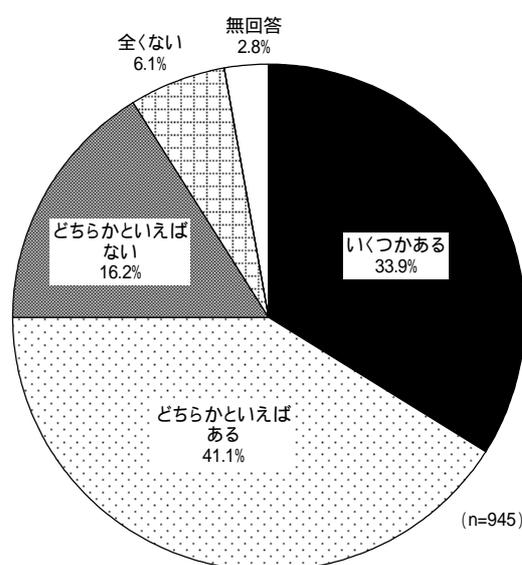
図表II-21 地域の中で、家族以外で頼れる人の有無



(11) 生きがいを感じることや今後やってみたいことの有無(問 15)

- ・ 生きがいを感じることや、今後やってみたいことを持っているかどうかについてみると、「いくつかある」という回答は 33.9%、「どちらかといえばある」は 41.1%となっており、全体の4分の3の人が何らかの生きがいを持っていると回答している。
- ・ 65 歳以上の高齢者についてみると、何らかの生きがいを持っていると回答している割合は 65.4%となっている。また、「全くない」という回答は、65～74 歳においては、3.8%と他の年代と比べても比率が低いのに対し、75 歳以上では「全くない」という回答が 11.5%と、目立って高くなっている。

図表II-22 生きがいを感じることや今後やってみたいことを持っているか

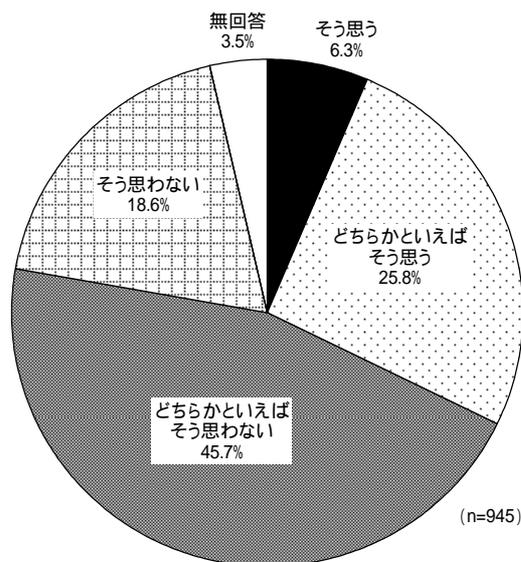


		いくつかある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	全くない	無回答
全体	N= 945	33.9	41.1	16.2	6.1	2.8
15～24歳	N= 95	44.2	41.1	9.5	5.3	0.0
25～34歳	N= 139	42.4	39.6	10.8	6.5	0.7
35～44歳	N= 170	35.9	39.4	19.4	5.3	0.0
45～54歳	N= 107	39.3	40.2	15.0	4.7	0.9
55～64歳	N= 134	29.9	49.3	13.4	6.0	1.5
65～74歳	N= 156	26.3	44.2	20.5	3.8	5.1
75歳以上	N= 113	23.0	35.4	20.4	11.5	9.7
65歳以上	N= 269	24.9	40.5	20.4	7.1	7.1

(12) 障害のある人が日常生活を送りやすい地域環境の有無(問 16)

- ・ 障害のある人が日常生活を送りやすい地域環境かどうかについてみると、「どちらかといえばそう思わない」という回答が 45.7%と最も多くなっている。
- ・ 「そう思う」は 6.3%、「どちらかといえばそう思う」25.8%となっており、全体の 3 割強の人が、障害のある人が日常生活を送りやすい地域環境だと回答している。

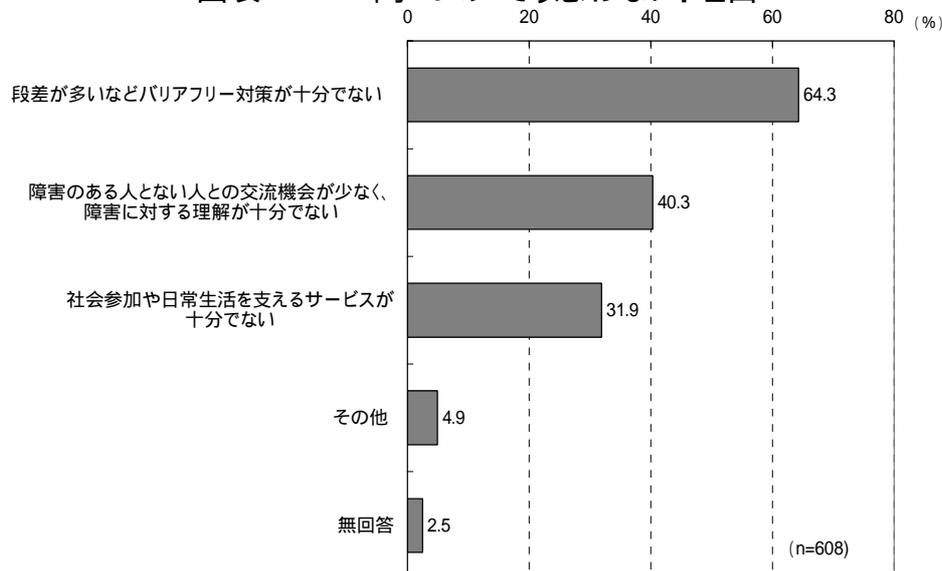
図表II-23 心身に障害がある人が日常生活を送りやすい地域環境か



(13) 問 16 の「そう思わない」理由(問 17、問 16 で「3」または「4」と答えた人、複数回答)

- ・ 障害のある人が日常生活を送りにくい環境である理由として、最も回答が多いのは「段差が多いなどバリアフリー対策が十分でない」(64.3%)であり、「障害のある人とない人との交流機会が少なく、障害に対する理解が十分でない」(40.3%)と続く。

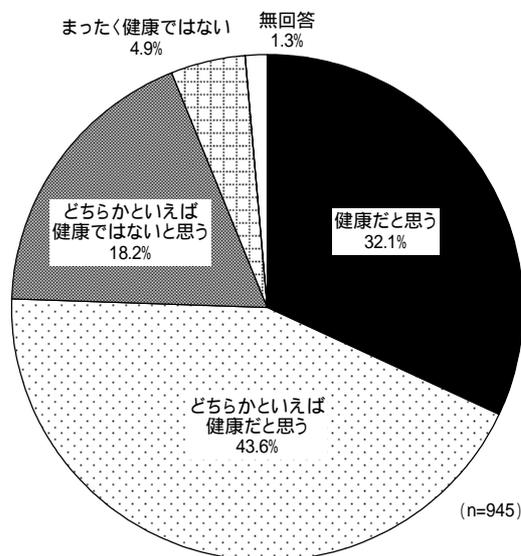
図表II-24 問 16 の「そう思わない」理由



(14) 心身の健康状態(問 18)

・自身の心身の健康状態についてみると、「健康だと思う」という回答は32.1%、「どちらかといえば健康だと思う」は43.6%となっており、全体のおよそ4分の3の人が自分は健康であると回答している。

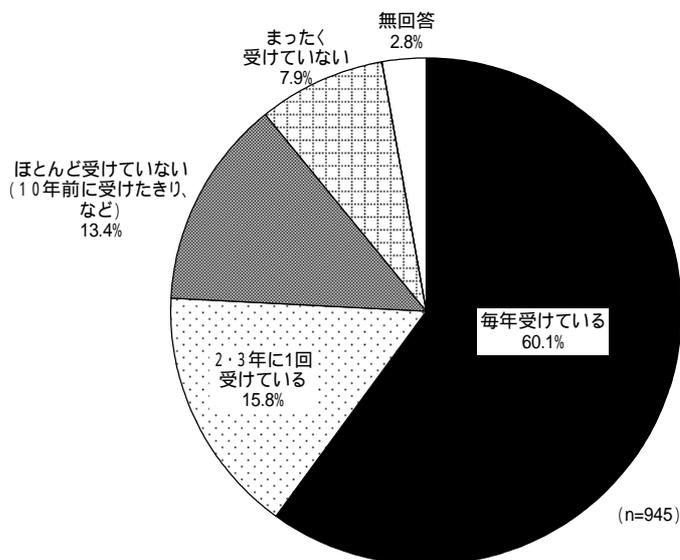
図表II-25 心身の健康状態



(15) 健康診断の受診頻度(問 19)

・健康診断の受診頻度について、もっとも回答が多いのは「毎年受けている」(60.1%)となっている一方で、「ほとんど受けていない」「まったく受けていない」という回答が、合わせて2割以上ある。

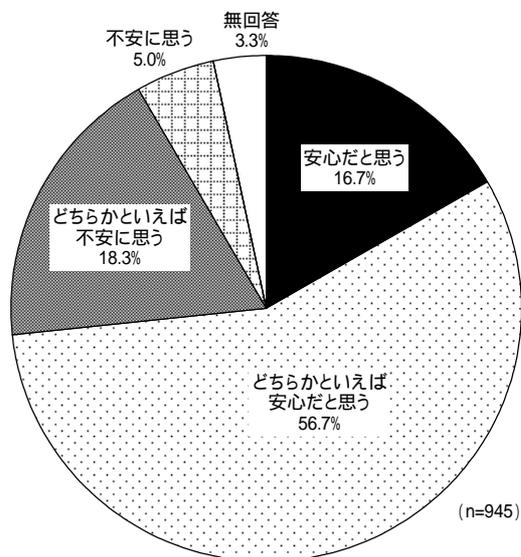
図表II-26 健康診断の受診頻度



(16) 尼崎市の消防・防災体制の安心度(問 20)

- ・ 尼崎市の消防・防災体制の安心度についてみると、「安心だと思う」という回答が 16.7%、「どちらかといえば安心だと思う」は 56.7%となっており、全体の 7 割強が一定安心だと回答している。

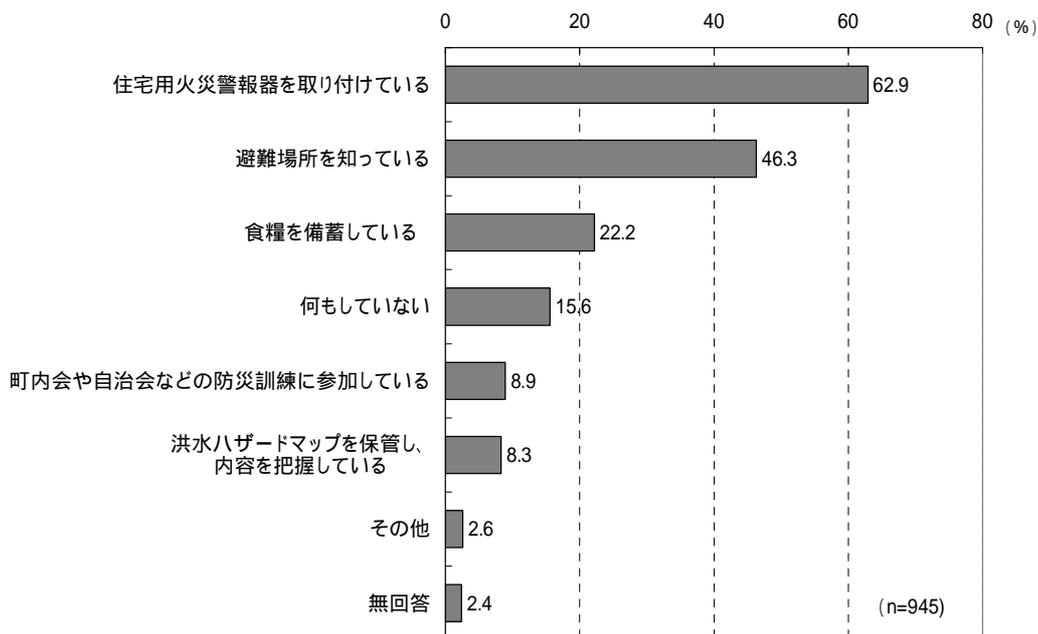
図表II-27 尼崎市の消防・防災体制の安心度



(17) 家庭での防火・防災の備えの状況(問 21、複数回答)

- ・ 家庭での防火・防災の備えの状況については、「住宅用火災警報器を取り付けている」という回答が 62.9%と最も多くなっている。
- ・ その他の備えについては「避難場所を知っている」が 46.3%、「食糧を備蓄している」が 22.2%と続く。

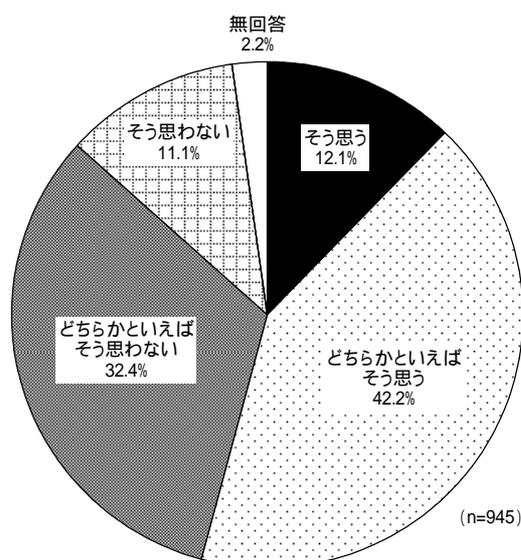
図表II-28 家庭での防火・防災の備えの状況



(18) 交通安全や治安等の面での日常生活の安心度(問 22)

・ 交通安全や治安等の面で、日常生活を安心して過ごせているかどうかをみると、「そう思う」という回答は 12.1%、「どちらかといえばそう思う」は 42.2%で、合わせても 54.3%にとどまり、全体の 4 割強の人が交通安全や治安等の面で何らかの不安を抱えていると回答している。

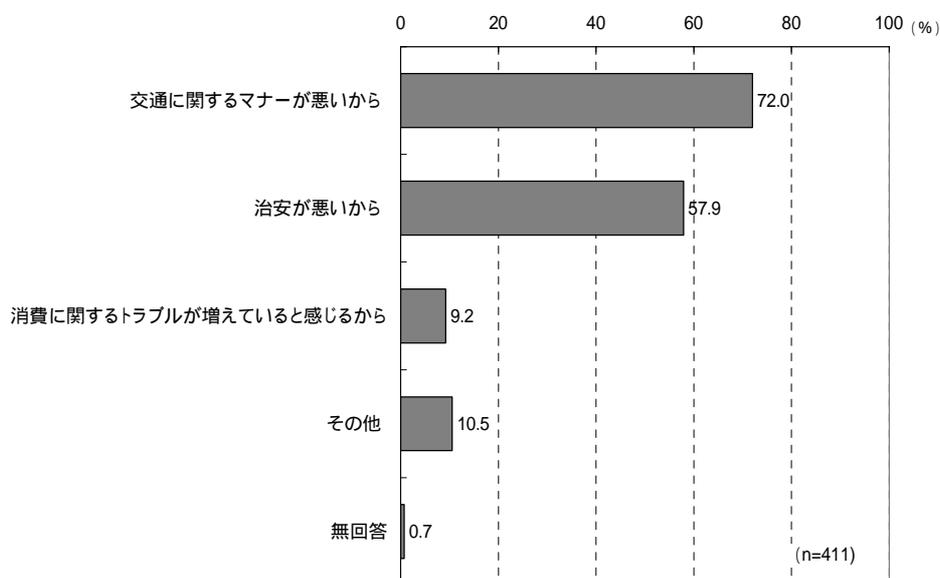
図表II-29 交通安全や治安等の面での日常生活の安心度



(19) 問 22 の「そう思わない」理由(問 23、問 22 で「3」または「4」と答えた人、複数回答)

・ 不安を感じる理由として、最も回答が多いのは「交通に関するマナーが悪いから」(72.0%)であり、「治安が悪いから」(57.9%)と続く。

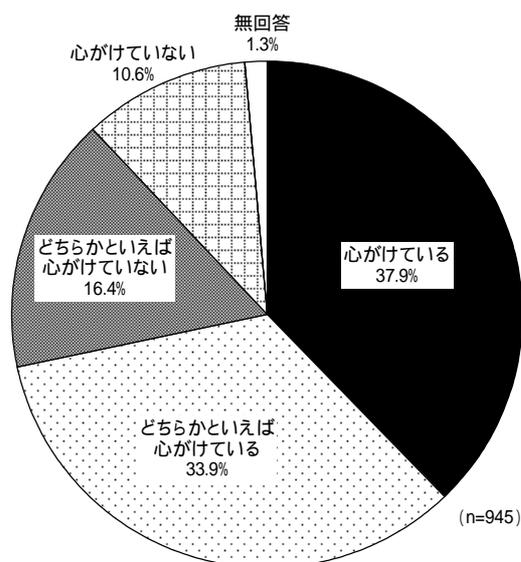
図表II-30 問 22 の「そう思わない」理由



(20) 尼崎市の経済が活性化するような行動への意識(問 24)

・ できるだけ市内で買い物をするなど、尼崎市の経済が活性化するような行動を心がけているかについてみると、「心がけている」という回答は 37.9%、「どちらかといえば心がけている」は 33.9%となっており、7割強がそうした行動を心がけていると回答している。

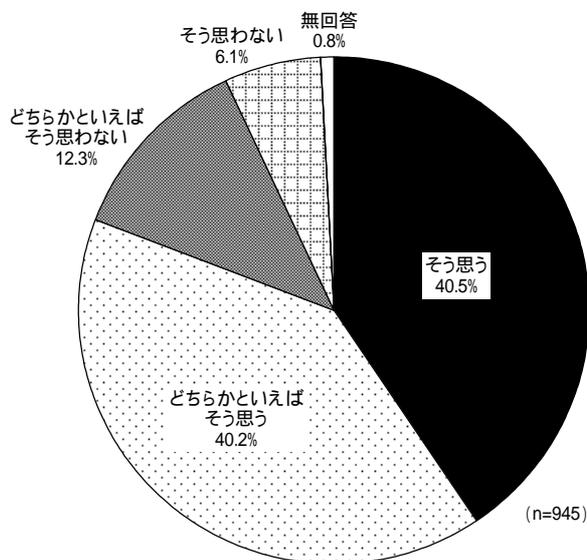
図表II-31 尼崎市の経済が活性化するような行動への意識・心がけ



(21) 市内での買物の満足度(問 25)

・ 市内で便利で満足いく買い物ができているかについてみると、「そう思う」という回答は 40.5%、「どちらかといえばそう思う」は 40.2%となっており、およそ8割の人が市内における買い物の環境は便利で満足だと回答している。

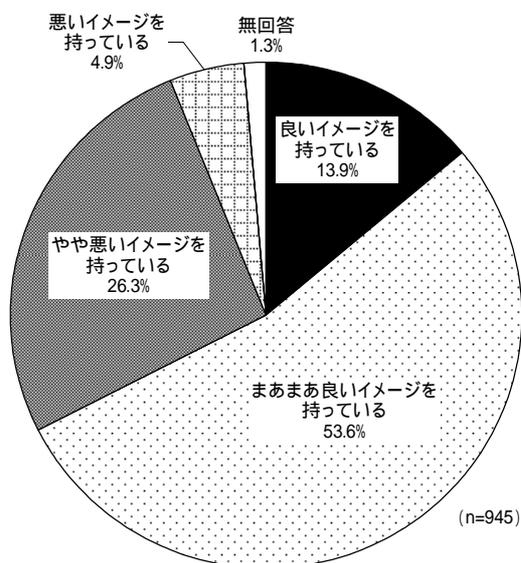
図表II-32 市内での買物の満足度



(22) 尼崎市に対するイメージ(問 26)

・ 尼崎市に対するイメージについてみると、「良いイメージを持っている」という回答は13.9%、「まあまあ良いイメージを持っている」は53.6%となっており、全体のおよそ3分の2が良いイメージを持っていると回答している。

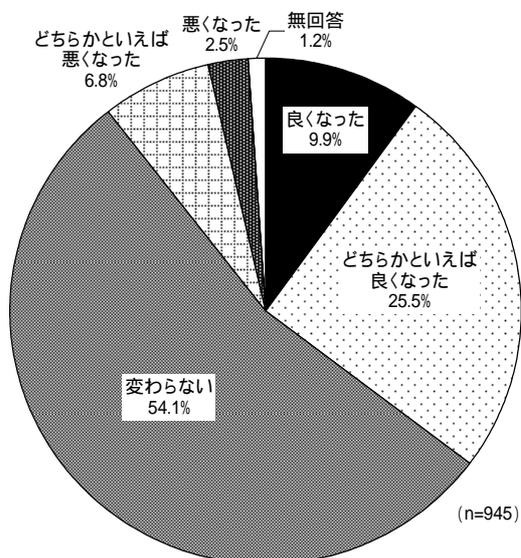
図表II-33 尼崎市に対するイメージ



(23) ここ数年の尼崎市に対するイメージの変化(問 27)

・ ここ数年の尼崎市に対するイメージの変化をみると、「変わらない」という回答が半数を超えて最も多くなっている。
・ が、「良くなった」、「どちらかといえば良くなった」が合わせて3割強あるのに対し、「悪くなった」、「どちらかといえば悪くなった」は合わせて1割弱となっており、良い方向に変化しているという回答のほうが多くなっている。

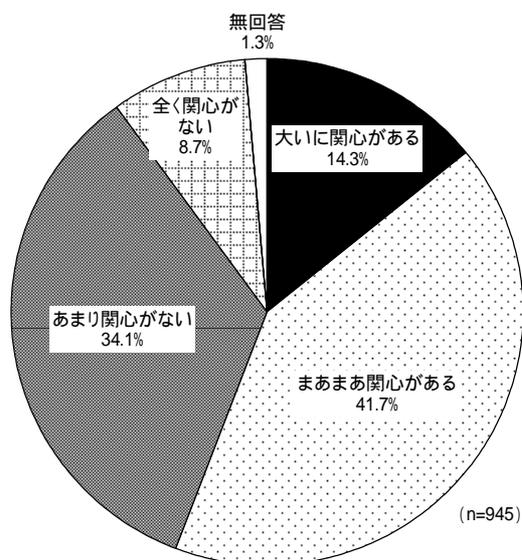
図表II-34 ここ数年の尼崎市に対するイメージの変化



(24) 尼崎市や住んでいる地域の歴史への関心(問 28)

- ・ 尼崎市や住んでいる地域の歴史への関心についてみると、「大いに関心がある」という回答は 14.3%、「まあまあ関心がある」は 41.7%となっており、合わせて、全体の 5 割強は関心があると回答している。
- ・ 「あまり関心がない」は 34.1%となっている。

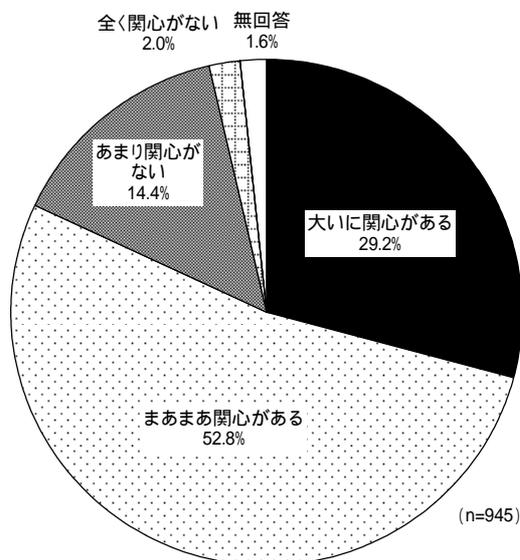
図表II-35 尼崎市や住んでいる地域の歴史への関心



(25) 環境や地球温暖化問題への関心(問 29)

- ・ 地球温暖化問題への関心についてみると、「大いに関心がある」という回答は29.2%、「まあまあ関心がある」は52.8%となっており、全体の8割強の人が関心があると回答している。

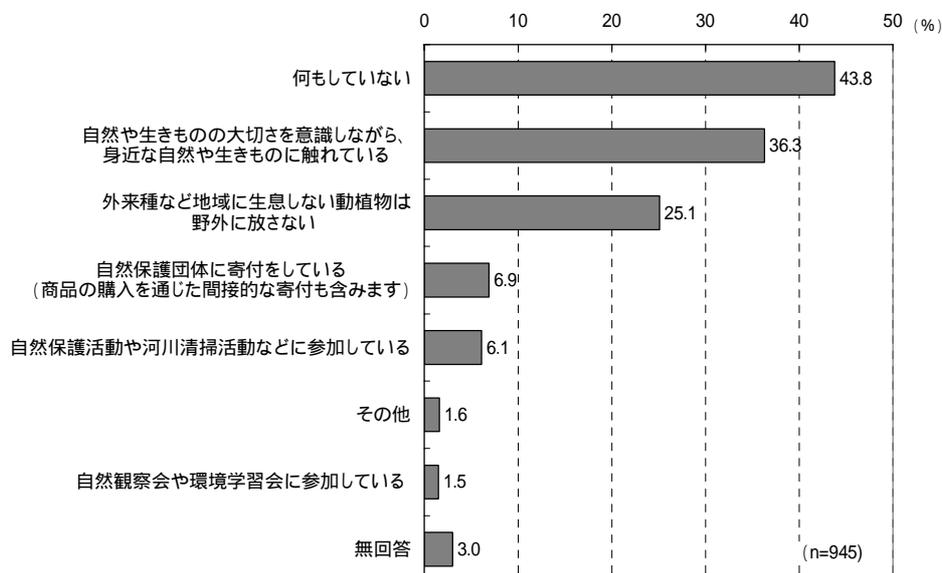
図表II-36 環境や地球温暖化への関心



生物多様性を守るための取組(問 30、複数回答)

- ・ 生物多様性を守るための取組については「何もしていない」という回答が43.8%と最も多い。
- ・ 活動している回答については、「自然や生き物の大切さを意識しながら、身近な自然や生きものに触れている」(36.3%)、「外来種など地域に生息しない動植物は野外に放さない」(25.1%)の順に多くなっている。

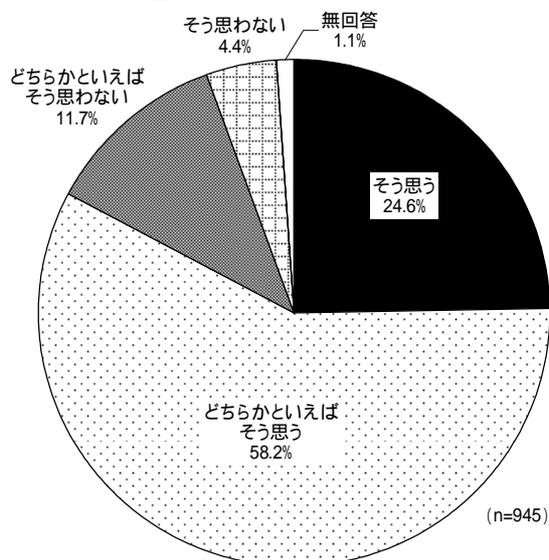
図表II-37 生物多様性を守るための取組



(27) 住環境は快適で暮らしやすいか(問 31)

・ 住まい・住環境が暮らしやすいかどうかについてみると、「そう思う」という回答は24.6%、「どちらかといえばそう思う」は58.2%となっており、全体の8割強の人が暮らしやすいと回答している。

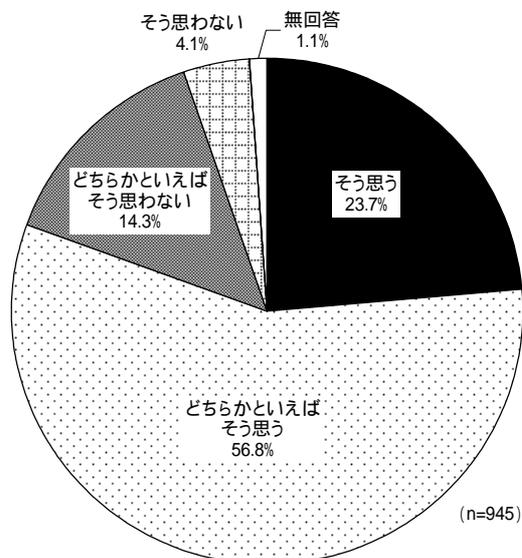
図表II-38 住環境は快適で暮らしやすいか



(28) 市内インフラは、利便性が高く安全で暮らしやすいか(問 32)

・ 道路・上下水道等の市内のインフラについて、利便性が高く安全で暮らしやすいかどうかについてみると、「そう思う」という回答は23.7%、「どちらかといえばそう思う」は56.8%となっており、全体のおよそ8割が市内インフラは便利で安全であると回答している。

図表II-39 市内インフラは、利便性が高く安全で暮らしやすいか

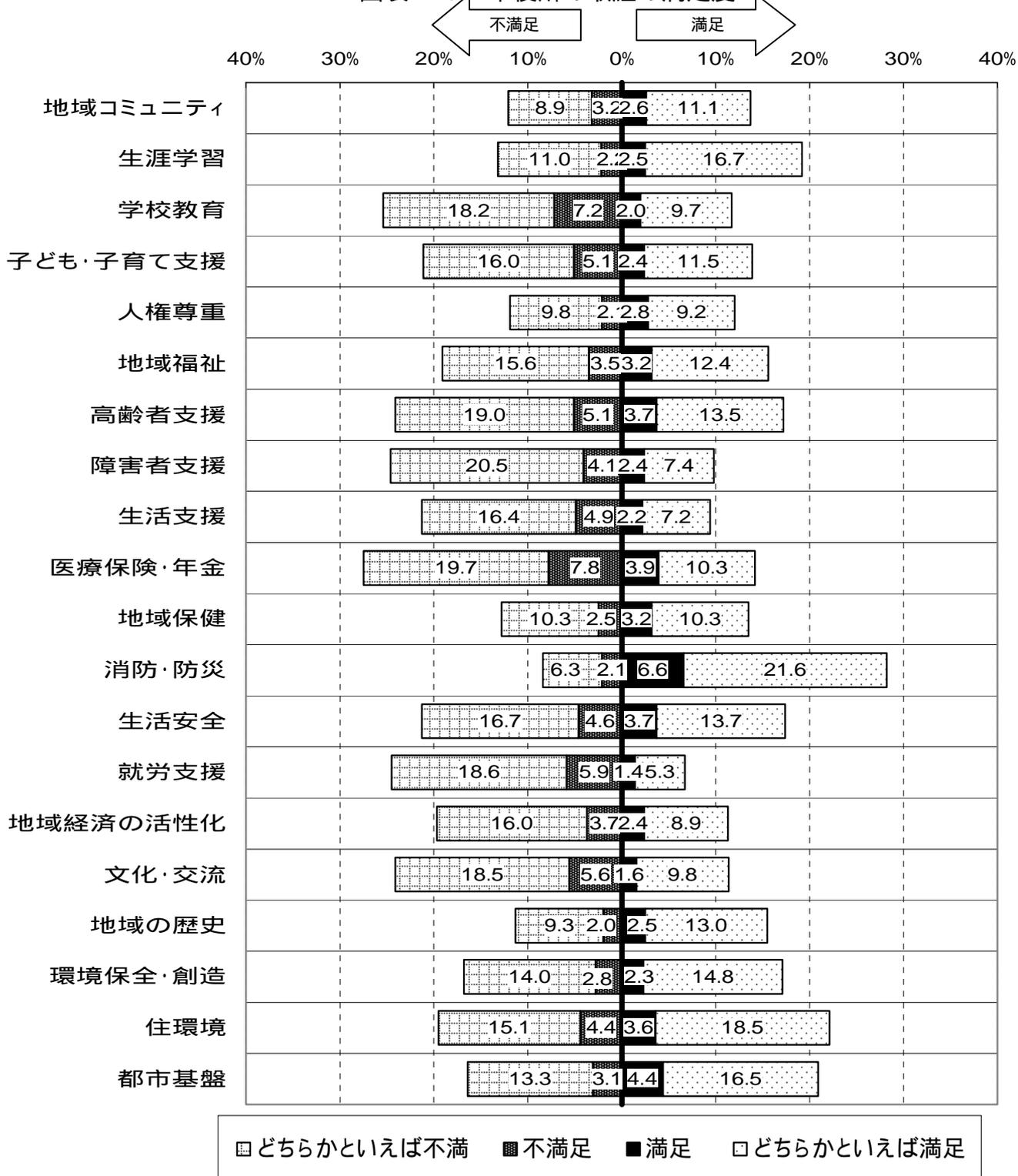


4. 市役所の取組への評価

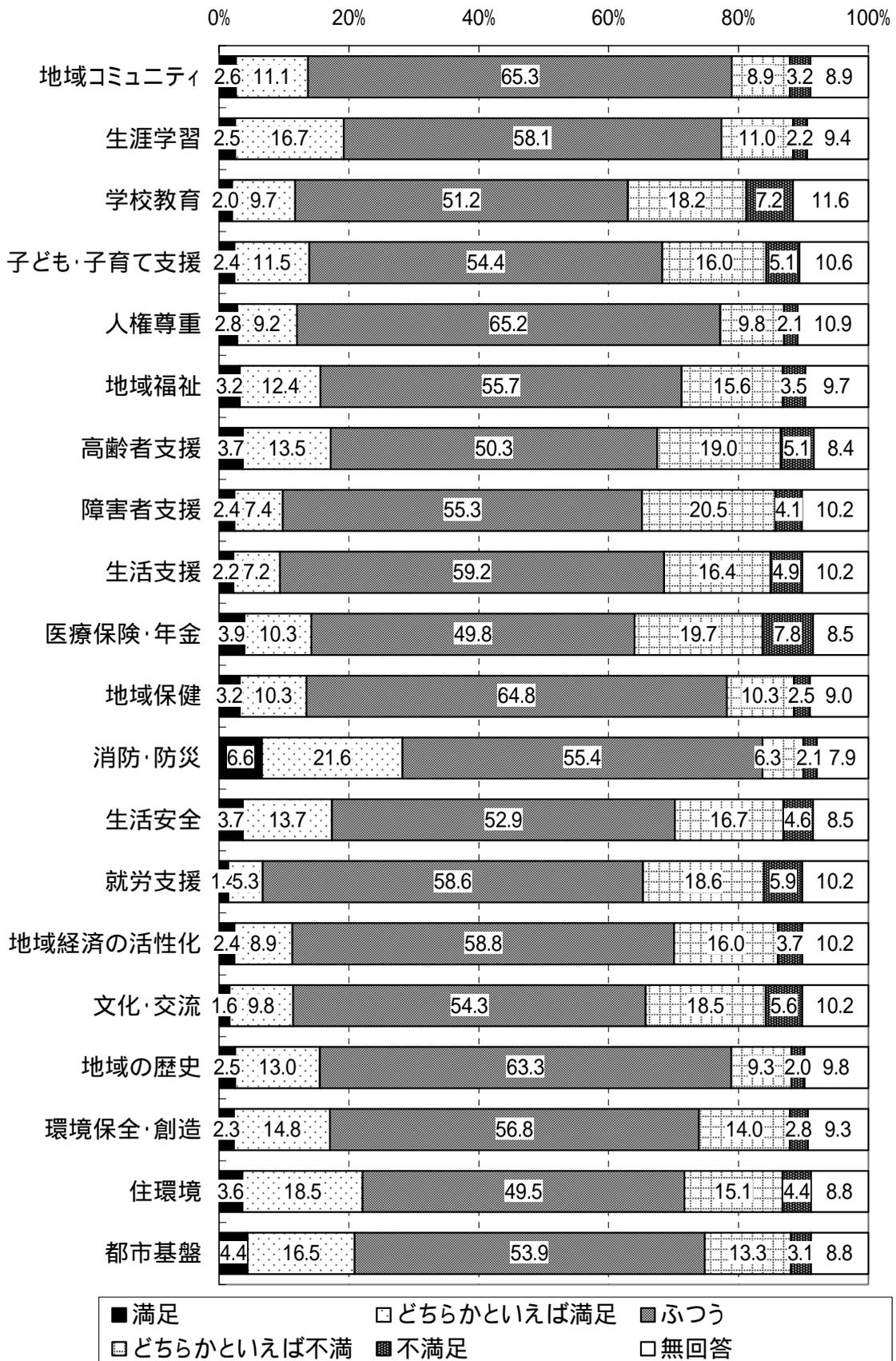
(1) 市役所の取組の満足度(問 33)

- ・ 市役所の取組の満足度については、次ページ参考図表のとおり、どの項目も「ふつう」という回答が最も多くなっている。
- ・ 「ふつう」「無回答」を除けば、「消防・防災」、「住環境」、「都市基盤」については「満足」「どちらかといえば満足」といった回答がやや多くなっている。

図表II-40 市役所の取組の満足度



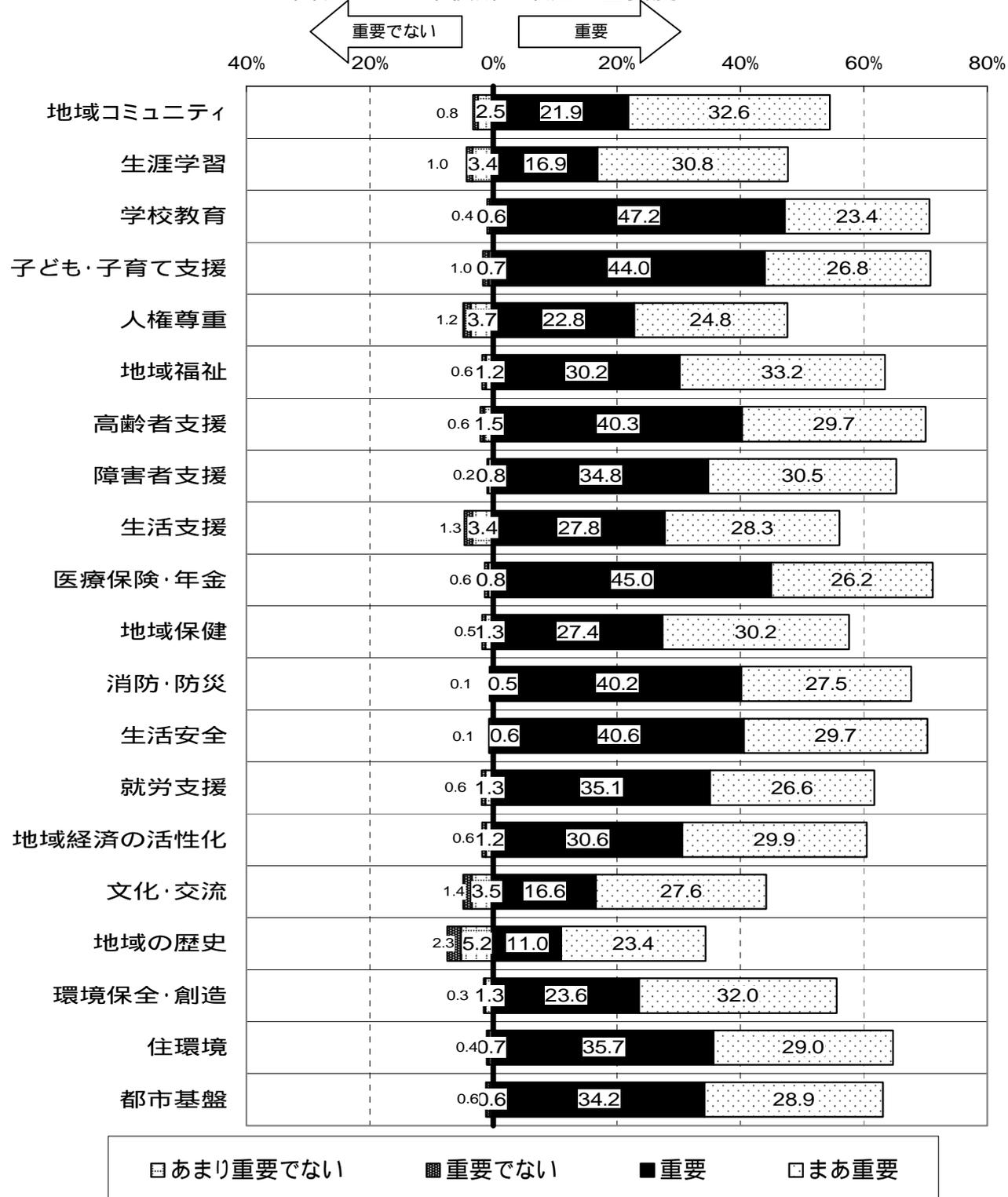
<参考図表> 市役所の取組のへの評価



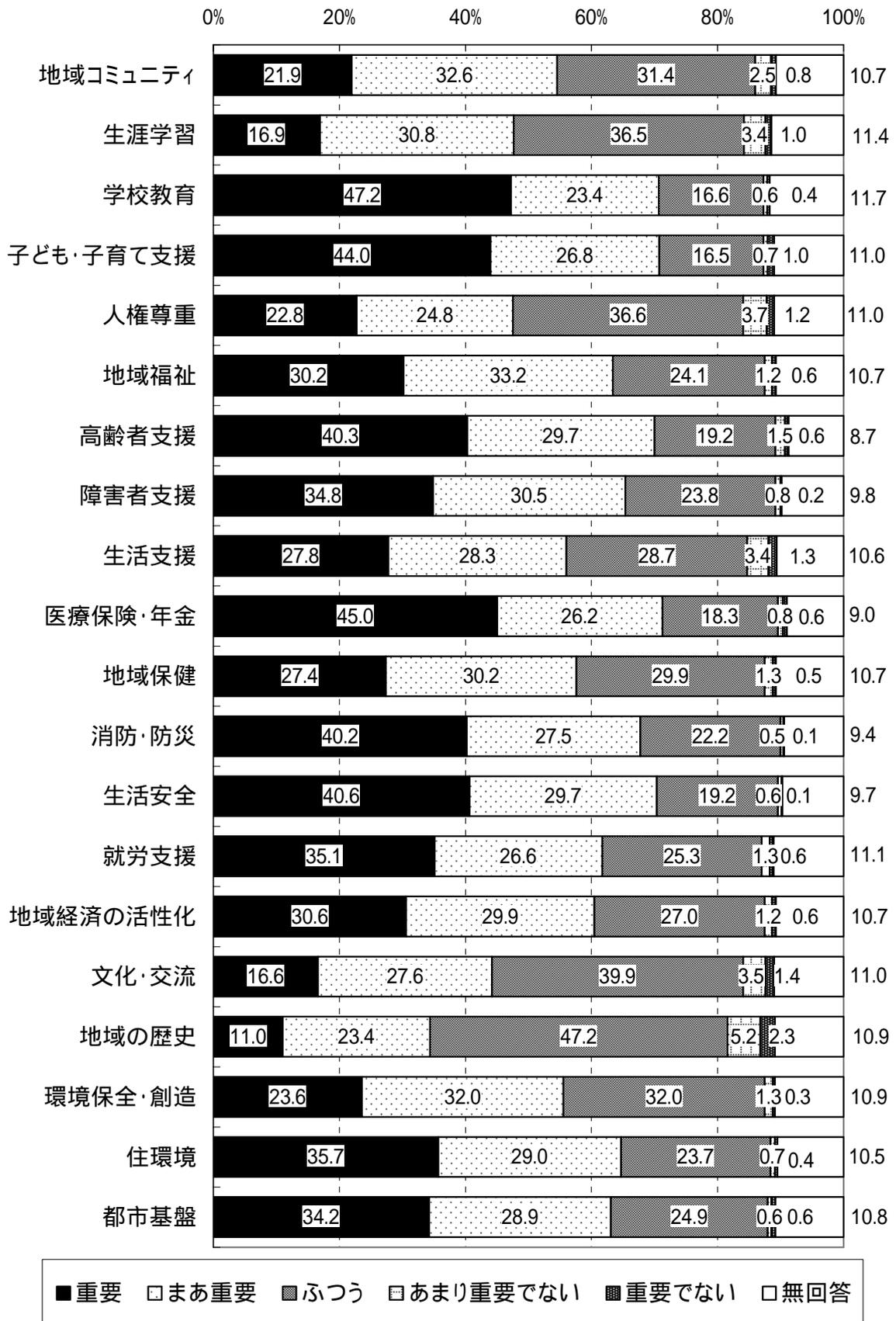
(2) 市役所の取組の重要度(問 33)

- ・ 市役所の取組の重要度については、次ページ参考図表のとおり、「重要」、「まあ重要」という回答が多くなる傾向がある。
- ・ すべての項目において、「重要」、「まあ重要」が多くなっており、「消防・防災」など満足度の調査において「満足」とする回答が多い項目においても、「重要」という回答の比率が高くなっている。

図表II-41 市役所の取組の重要度



< 参考図表 > 市役所の取組の重要性



調查票

まちづくりに関する意識調査(アンケート)

ご協力をお願い

市民の皆様には、市政の推進にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、尼崎市は、まちづくりの計画(第2次基本計画、平成12年度策定)の期間の終了を見越して、平成25年度を新たなスタートとした計画(尼崎市総合計画)の策定に向けた作業を行っています。ついては、新しい計画に基づくまちづくりの進み具合を見るため、市民の皆様が日ごろ感じておられることについて調査を行うものです。

なお、この調査は、満15歳以上の市民の中から無作為に2,000人を選び、調査票をお送りしています。お答えいただきました内容はすべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

お忙しい中、ご面倒とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成24年2月

尼崎市長 稲村 和美

ご記入にあたってのお願い

調査票へのご記入はあて名の方ご本人にお願いします。

ご記入いただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、3月7日(水)までにポストに入れてください。なお、調査票と返信用封筒に、お名前をご記入いただく必要はありません。

この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

尼崎市役所 企画財政局 政策室 計画担当

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号

電話 (06)6489-6147(直通)

メール ama-keikaku@city.amagasaki.hyogo.jp

【参 考】

策定中の新しい計画については、ホームページのほか、市政情報センター、各支所などでご覧になれます。

尼崎市ホームページ

[尼崎の市政](#) > [みんなで考える尼崎の未来](#) > [審議会・協議会・意見交換会](#) > [総合計画](#)

1. 尼崎への居住意向

問1 あなたが尼崎市に現在住んでいる理由は何ですか。(はいくつでも)

- 1 生まれたときから住んでいるから
- 2 親(子)など親族と同居している、あるいは近くに住んでいるから
- 3 もともと配偶者が市内に住んでいたから
- 4 通勤・通学に便利だから
- 5 生活が便利だから
- 6 土地・住居代、家賃が安いから
- 7 社宅・官舎など職場から指定された住居があるから
- 8 環境が良いから
- 9 その他()

問2 あなたは今後も現在お住まいの場所に住み続けたいと思いますか。(は1つだけ)

- 1 ずっと住み続けたい
- 2 当分の間は住みたい
- 3 市外に移りたい
- 4 市内で移りたい
- 5 わからない

次のページ
問5へ

問3-A 住み続けたい理由は何ですか。(は3つまで)

- 1 自然や空気などの環境面がよいから
- 2 文化施設やスポーツ施設などが多いから
- 3 子育て支援や学校教育に満足しているから
- 4 気軽に参加できる地域の行事が多く、地域住民のつながりが強いから
- 5 親(子)と同居している、あるいは近くに住んでいるから
- 6 ふだんの買い物などが便利だから
- 7 通勤・通学に便利だから
- 8 商売や仕事の関係上、適した場所だから
- 9 治安がいいから
- 10 今の住宅に満足しているから
- 11 保健・医療・福祉サービスが整っているから
- 12 土地・住居代、家賃が安いから
- 13 その他(具体的に)

問3-Aの回答が終われば、次のページ問5へ

問3-B 移りたい理由は何ですか。(は3つまで)

- 1 自然や空気などの環境面がよくないから
- 2 文化施設やスポーツ施設などが少ないから
- 3 子育て支援や学校教育に不満があるから
- 4 気軽に参加できる地域の行事が少なく、地域住民のつながりが弱いから
- 5 いずれ親(子)と同居するから(家族の住宅と遠く離れているから)
- 6 ふだんの買い物などが不便だから
- 7 通勤・通学に不便だから
- 8 商売や仕事の関係上、適さない場所だから
- 9 治安が悪いから
- 10 今の住宅に不満があるから
- 11 保健・医療・福祉サービスが不十分だから
- 12 土地・住居代、家賃が高いから
- 13 その他(具体的に)

問4へ

問4 具体的にどこに移りたいですか。(は1だけ)

- 1 神戸市
- 2 大阪市
- 3 西宮市
- 4 芦屋市
- 5 伊丹市
- 6 宝塚市
- 7 川西市
- 8 三田市
- 9 その他(具体的に)
- 10 特にない

問4の回答が終われば、次のページ問5へ

2. 市政への関心や日常生活について

まちづくりの計画は、市民生活を 20 のテーマ(6ページ参照)に分け、そのテーマごとに取組の方向性を示し、その進み具合を見るための指標を掲載しています。3～5ページでの設問は、テーマごとに取組の進み具合を測る指標としてみなさんの意識や考え等をお伺いするものです。

問5 あなたは市政に関心を持っていますか。
(は1つだけ)

- 1 市政に関心がある
- 2 どちらかといえば市政に関心がある
- 3 どちらかといえば市政に関心がない
- 4 市政に関心がない

問6 あなたの市政への関心は、ここ数年間でどのように変化しましたか。
(は1つだけ)

- 1 関心が高まり、市の事業等に参加・参画するようになった
- 2 以前より関心を持つようになった
- 3 変わらない
- 4 以前より関心を持たなくなった

問7 あなたは健康維持・増進のために、運動やスポーツ等で意識的に体を動かすように心がけていますか。(は1つだけ)

- 1 心がけている
- 2 ときどき心がけている
- 3 あまり心がけていない
- 4 全く心がけていない

問8 あなたは生涯学習活動に取り組み、その成果をどのようなことに活かしていますか。(はいくつでも)

- 1 生涯学習活動に取り組んでいない
- 2 自分の趣味・生きがいとしている
- 3 自分の能力向上に活かしている
- 4 ボランティア活動等を通じて地域づくりにいかしている
- 5 その他()

生涯学習とは、自分の意思で、自分に適した手段や方法を選んで、生涯を通じて行う学習活動のことをいいます。趣味・教養、資格取得、スポーツ活動、レクリエーション活動、芸術・文化活動、地域づくり活動、国際交流活動、ボランティア活動等まで幅広いものがあります。

問9 あなたは自分の家族以外に、地域の子ども(中学生以下)と何か交流がありますか。
(はいくつでも)

- 1 日ごろからあいさつをする
- 2 一緒に遊んだり、出かけたりする
- 3 危ないこと、いけないことをしている時は注意する
- 4 その他()
- 5 交流はない

問10 あなたは地元の小中学校と以下のような関わりをもったことがありますか。(はいくつでも)

- 1 登下校時の子どもたちの見守り活動
- 2 授業等に講師として参加
- 3 学校行事・オープンスクールへの参加
- 4 学校支援ボランティアに参加
- 5 その他()
- 6 特にない

問11 あなたは子育ての悩みや不安について、身近に相談できる人間関係や場所、専門家などといった地域の環境があると思いますか。(は1つだけ)

未成年の子どもがいない場合にもいずれかをお答えください。

- 1 あると思う
- 2 どちらかといえばあると思う
- 3 どちらかといえばないと思う
- 4 ないと思う

問12 あなたの職場・学校や地域など、身近なところで人権問題が発生していると思いますか。(は1つだけ)

- 1 明らかな人権問題が発生している
- 2 発生しているような気がする
- 3 おそらく発生していないと思う
- 4 全く無いと思う

問 13 「男は仕事、女は家事・育児」という考え方がありますが、あなたは、この考え方に同感しますか。(は1つだけ)

- 1 同感する
- 2 どちらかといえば同感する
- 3 どちらかといえば同感しない
- 4 同感しない

問 14 あなたは地域の中に、家族以外で頼れる人がいますか。(は1つだけ)

- 1 大勢いる
- 2 何人かはいる
- 3 いないが、頼れる人がいればと思う
- 4 いないし、誰にも頼りたくない

問 15 あなたは、普段していることで生きがいを感じることや今後やってみたいことを持っていますか。(は1つだけ)

- 1 いくつかある
- 2 どちらかといえばある
- 3 どちらかといえばない
- 4 全くない

問 16 あなたは、心身に障害がある方が、日常生活をする上で必要な地域の環境が整っているとと思いますか。(は1つだけ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない

問 17 問 16 で「3」または「4」と答えた理由は何ですか。(はいくつでも)

- 1 社会参加や日常生活を支えるサービスが十分でない
- 2 障害のある人とない人との交流機会が少なく、障害に対する理解が十分でない
- 3 段差が多いなどバリアフリー対策が十分でない
- 4 その他()

問 18 あなた自身は今、心身ともに健康だと思えますか。(は1つだけ)

- 1 健康だと思う
- 2 どちらかといえば健康だと思う
- 3 どちらかといえば健康ではないと思う
- 4 まったく健康ではない

問 19 あなたは健康診断をどれくらいの頻度で受けていますか。(は1つだけ)

- 1 毎年受けている
- 2 2・3年に1回受けている
- 3 ほとんど受けていない
(10年前に受けたきり、など)
- 4 まったく受けていない

問 20 あなたは尼崎市の消防や防災の体制は安心だと思いますか。(は1つだけ)

- 1 安心だと思う
- 2 どちらかといえば安心だと思う
- 3 どちらかといえば不安に思う
- 4 不安に思う

問 21 あなたの家庭では、防火・防災に関して以下の備えをしていますか。(はいくつでも)

- 1 住宅用火災警報器を取り付けている
- 2 食糧を備蓄している
- 3 避難場所を知っている
- 4 洪水ハザードマップを保管し、内容を把握している
- 5 町内会や自治会などの防災訓練に参加している
- 6 その他()
- 7 何もしていない

問 22 あなたは尼崎市の交通安全や治安等の面で、日常生活を安心して過ごせていると思いますか。(は1つだけ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない

問 23 問 22 で「3」または「4」と答えた理由は何ですか。(はいくつでも)

- 1 交通に関するマナーが悪いから
- 2 治安が悪いから
- 3 消費に関するトラブルが増えていると感じるから
- 4 その他()

問 24 あなたはできるだけ市内で買い物をするなど、尼崎市の経済が活性化するような行動を心がけていますか。(は1つだけ)

- 1 心がけている
- 2 どちらかといえば心がけている
- 3 どちらかといえば心がけていない
- 4 心がけていない

問 25 あなたは市内で便利で満足のいく買い物ができていると思いますか。(は1つだけ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない

問 26 あなたは尼崎市に対して良いイメージを持っていますか。(は1つだけ)

- 1 良いイメージを持っている
- 2 まあまあ良いイメージを持っている
- 3 やや悪いイメージを持っている
- 4 悪いイメージを持っている

問 27 あなたの尼崎市に対するイメージは、ここ数年でどのように変化しましたか。(は1つだけ)

- 1 良くなった
- 2 どちらかといえば良くなった
- 3 変わらない
- 4 どちらかといえば悪くなった
- 5 悪くなった

問 28 あなたは尼崎市や住んでいる地域の歴史について興味・関心がありますか。(は1つだけ)

- 1 大いに関心がある
- 2 まあまあ関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 全く関心がない

問 29 あなたは、環境問題や地球温暖化について興味・関心がありますか。(は1つだけ)

- 1 大いに関心がある
- 2 まあまあ関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 全く関心がない

問 30 あなたは生物多様性を守るために、以下のようなことに取り組んでいますか。(はいくつでも)

- 1 自然や生きものの大切さを意識しながら、身近な自然や生きものに触れている
- 2 自然観察会や環境学習会に参加している
- 3 外来種など地域に生息しない動植物は野外に放さない
- 4 自然保護活動や河川清掃活動などに参加している
- 5 自然保護団体に寄付をしている(商品の購入を通じた間接的な寄付も含まれます)
- 6 その他()
- 7 何もしていない

生きものは地球の長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、一つひとつに個性がある一方で、それぞれは、互いに支えあって生きています。生物多様性とは、そうした生きものたちの豊かな個性とつながりのことをいいます。

問 31 あなたのお住まいをはじめとする住環境は、快適で暮らしやすいと思いますか。(は1つだけ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない

問 32 あなたは、市内が道路や上下水道等の都市基盤が整っており、利便性が高く安全で暮らしやすいと思いますか。(は1つだけ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない

3. 市役所の取り組みへの評価

問 33 あなたは、次のテーマについて、市の取組の現状と今後の重要性をどのように感じておられるかを、1つずつ選び、番号に をつけてください。

テーマ・施策	主な取組内容	A. 現在の状況				
		満足	いどちらば満か足	ふつう	いどちらば不満	不満足
地域コミュニティ みんなの支えあいで地域が元気なまち	地域コミュニティの形成・活性化 地域コミュニティ活動を担う人材の育成	1	2	3	4	5
生涯学習 生涯を通して学び、スポーツに親しめるまち	生涯学習活動の支援と成果の活用 運動やスポーツによる市民の健康づくり	1	2	3	4	5
学校教育 教育の充実で子どもの生きる力をはぐむまち	教育・学習内容の充実 心のケア・心の教育、健康な体づくり	1	2	3	4	5
子ども・子育て支援 健やかに子どもが育ち、笑顔が輝くまち	子育て支援、保育事業、放課後児童対策等 子どもの主体的な学びや行動への支援	1	2	3	4	5
人権尊重 人権文化の息づくまち	人権問題の啓発と人権教育 人権侵害防止と被害者支援	1	2	3	4	5
地域福祉 誰もが地域でその人らしく暮らせる福祉のまち	地域生活を支える福祉コミュニティづくり 地域福祉に関する相談、支援体制づくり	1	2	3	4	5
高齢者支援 高齢者が地域で安心して暮らせるまち	介護予防、権利擁護、社会参加の促進 地域での高齢者の見守り体制づくり	1	2	3	4	5
障害者支援 障害のある人が地域で自立して暮らせるまち	日常生活の支援、権利擁護 働く場の確保、社会参加の促進	1	2	3	4	5
生活支援 生活に課題を抱える人が安心して暮らせるまち	支援を要する子どもの早期発見と対応 生活保護、自立支援	1	2	3	4	5
医療保険・年金 医療保険で健康な生活を支えあうまち	医療保険制度の適切な維持・運営 被保険者の健康増進による医療費の適正化	1	2	3	4	5
地域保健 いきいきと健康に安心して暮らせるまち	思春期教育、母子保健、地域医療体制の確保 健康づくりや健康回復、生活衛生対策	1	2	3	4	5
消防・防災 消防・防災体制が充実したまち	防災対策 消防・救急・救助体制の充実	1	2	3	4	5
生活安全 生活に身近な安心を実感できるまち	防犯活動の推進、交通安全対策 安心できる消費生活を実現する環境づくり	1	2	3	4	5
就労支援 能力をいかし、いきいきと働けるまち	雇用と就労のマッチング 多様な働き方を支える環境づくり	1	2	3	4	5
地域経済の活性化 地域経済の活性化によるにぎわいのまち	ものづくり産業の競争力強化 地域社会を支える事業活動の支援	1	2	3	4	5
文化・交流 人をひきつける魅力があふれるまち	地域の資源をいかした新たな魅力づくり 戦略的な情報発信によるまちのイメージ向上	1	2	3	4	5
地域の歴史 歴史遺産を守りいかすまち	歴史遺産の保存と活用 地域の歴史に関する学習機会の提供	1	2	3	4	5
環境保全・創造 環境と共生する持続可能なまち	ごみや二酸化炭素排出量の削減・環境問題や 温暖化への対応・生物多様性の保全	1	2	3	4	5
住環境 暮らしやすく快適な住環境を備えたまち	美しいまちなみの保存・活用 公園・住宅等の維持・整備・更新	1	2	3	4	5
都市基盤 安全・安心な都市基盤で市民生活を支えるまち	道路・橋・河川・上下水道等の整備・維持 防災性の向上を目指した都市づくり	1	2	3	4	5

ますか。それぞれの項目について、あて

	B. 今後の重要性				
	重要	まあ重要	ふつう	であまり重要	重要でない
地域コミュニティ	1	2	3	4	5
生涯学習	1	2	3	4	5
学校教育	1	2	3	4	5
子ども・子育て支援	1	2	3	4	5
人権尊重	1	2	3	4	5
地域福祉	1	2	3	4	5
高齢者支援	1	2	3	4	5
障害者支援	1	2	3	4	5
生活支援	1	2	3	4	5
医療保険・年金	1	2	3	4	5
地域保健	1	2	3	4	5
消防・防災	1	2	3	4	5
生活安全	1	2	3	4	5
就労支援	1	2	3	4	5
地域経済の活性化	1	2	3	4	5
文化・交流	1	2	3	4	5
地域の歴史	1	2	3	4	5
環境保全・創造	1	2	3	4	5
住環境	1	2	3	4	5
都市基盤	1	2	3	4	5

問 34 「満足/不満」「重要/重要でない」とお答えになった中で、補足したい意見がありましたら自由に記入してください（「特にこの点が満足」「特にこれが今後重要」など）。

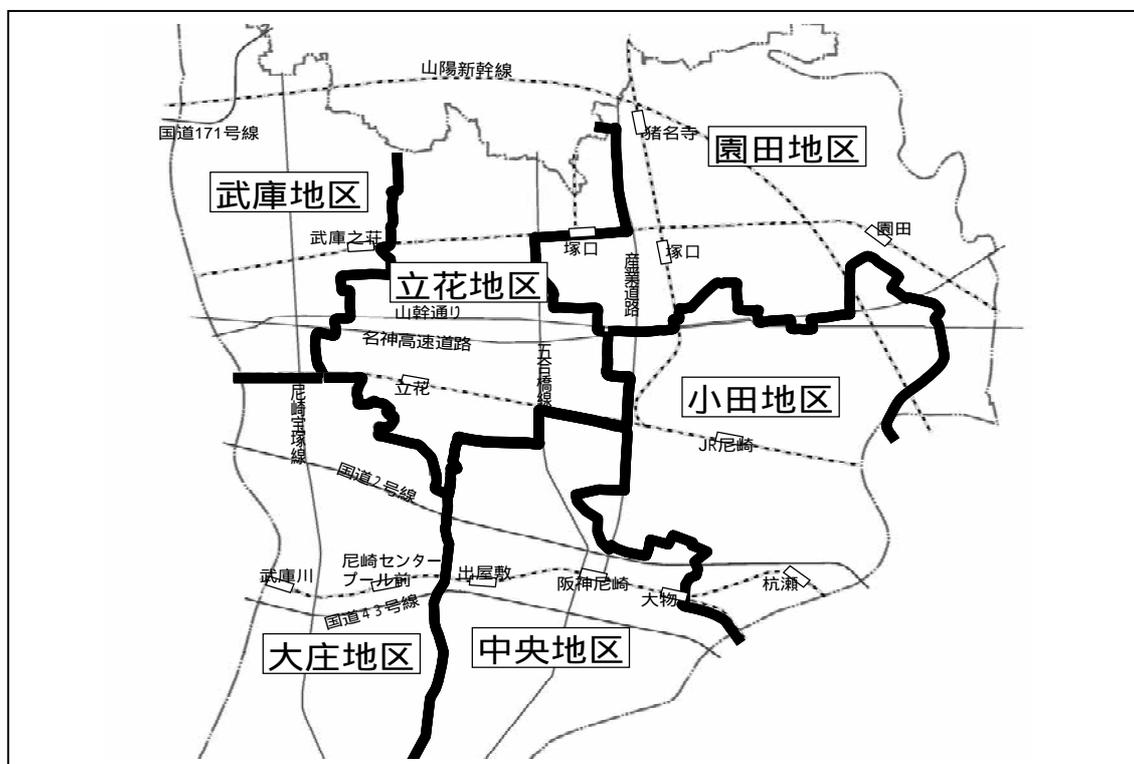
4. 自由意見

尼崎市のまちづくりに関してご意見があればご自由にご記入ください。

5. あなた自身のことについておたずねします

アンケート結果の分析に必要ですのでお答えください。これはアンケートの分析以外の目的には使用いたしません。次からそれぞれ1つずつ選んで、番号に 印をつけてください。

あなたの性別	1 男 2 女
あなたの年齢	1 15～24歳 2 25～34歳 3 35～44歳 4 45～54歳 5 55～64歳 6 65～74歳 7 75歳以上
あなたの職業	1 フルタイム勤務 2 パート・アルバイト 3 自営業・自由業（家族従業員も含む） 4 学生 5 家事専業 6 無職（求職中も含む） 7 その他（ ）
あなたの家族構成	1 ひとり暮らし 2 夫婦と子ども 3 三世帯同居 4 夫婦ふたり 5 一人親と子ども 6 その他 ----- あなたの同居の家族に含まれる方をすべて選んでください。 1 就学前（0～6歳）の子ども 2 小学生 3 中学生・高校生 4 65歳以上の方
あなたの勤務・通学先	1 尼崎市内 2 大阪市内 3 神戸市内 4 西宮市内 5 伊丹市内 6 芦屋市内 7 その他の地域 8 勤務・通学していない
あなたが住んでいる地区（下記地図参照）	1 中央地区 2 小田地区 3 大庄地区 4 立花地区 5 武庫地区 6 園田地区



～ ご協力ありがとうございました～

無記名のまま、同封の返信用封筒に入れて、3月7日(水)までに切手をはらずに郵便ポストに入れてください。

